2016.6.1発行

2016 6月 第61号 海陽（かいよう） 公民館報

5月4、5日　文化村まつり

海陽町教育委員会

新任のごあいさつ

「行きたい学校、帰りたい家庭、住みたい町（海陽町）」

社会教育指導員　皆津隆一

この4月から、海陽町教育委員会で社会教育指導員としてお世話になっております。3月末で、小中学校での勤務38年間を終え定年退職致しました。この間、町内の方々を中心にたくさんのご協力ご支援をいただきましたことに心からお礼申しあげます。

在職中、いろいろな事がございましたが、いつも私の心の支えは子ども達の笑顔でした。

少子高齢化、価値観の多様化、自然災害の対応等々、私が子ども時代だった半世紀前と比べるとずいぶん先の見えにくい、明るい未来が描きにくい時代と思ってしまいがちです。しかし、私が学校現場にいて感じたのは、このように子どもを取り巻く環境が大きく変わっても、子ども達の笑顔だけはいつの時代も変わらなかったということです。私はこの「笑顔」と「輝く瞳」にいつも励まされ、子ども達のよりよい成長を願って歩んで来たように思います。

さて、この度、社会教育指導員という仕事の内容を自分なりに考えた時、何年か前にどこかで見つけた、私のお気に入りのキャッチコピー「行きたい学校、帰りたい家庭、住みたい町（海陽町）」を思い出します。

つまり「学校」とは、友達がいて先生がいて、自分が認められ、きちんと自分の居場所がある楽しいところ、そして確かに成長する場所でなくてはならないのです。

「家庭」とはどんなことがあっても、いつも笑顔で迎えてくれる家族がいる温かい家庭であってほしいと思います。

そして、「住みたい町」とは、そうした家庭や学校、生まれ育った自然・社会環境をひっくるめ「住みたくなるようなふるさと（海陽町）」であってほしいと思うのです。

こうした「学校」と「家庭」と「町・地域」をうまく繋げていくことも私の仕事のひとつと考えています。そのために、皆様方には何かとご協力をお願いするようになるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

「人権力」ですみよい町に！
～今、戦争を考える②～

社会教育指導員　佐藤和久

戦争が起きる兆候（サイン）として、前回は挑発的事件、経済の危機について書いてみました。今回は国民の煽動、情報操作を取り上げてみます。

③国民の煽動

過去の歴史を見ると、戦争をリードする人たちは、巧みに国民を煽動してきました。戦争を望んでいない国民までを戦争に駆り立てます。国民感情を煽り戦争に導いた典型的な例として、ナチスのヒトラーがあげられます。ヒトラーは、**「大衆を動かすには敵を作り、その敵に対して〝怒り〟の感情を持たせることである」**と考えていました。〝怒り〟は最も煽動を可能とする感情なのです。ヒトラーは、また、**「大衆は理性で判断するよりも感情や情緒で判断する」**という大衆の習性を読み取り、巧みに活用したのです。理屈で正当性を述べるより、簡単な言葉を感情的に何度も発する方が国民に響くということです。簡単な言葉のスローガンを繰り返し感情的に発することで国民は指導者の考えた方向に動かされるのです。このヒトラーの手法は、今の政治の世界でもよく使われています。このようなことを考えると、国民が政治をしっかり監視し、おかしな動きに煽動されないということが重要になってきます。

④情報操作

「情報を制する者は世界を制する」と言われるくらい情報は強烈な力を持っています。太平洋戦争の時、国は大本営発表という形で国民に情報を与えました。提供された情報は、ほとんどが作られたものや日本優位なものばかりでした。新聞の内容も全て検閲を受けなければならず、真実が国民に伝わりませんでした。このことにより国民は間違った方向に導かれたのです。

最近の例をあげると、ナイラ証言（１９９０年、米国議会で15才の少女ナイラがイラク兵の残虐行為を涙ながらに訴えた証言。しかし、後にそれが嘘であったことが判明）によりアメリカ国民の感情を煽って始めた湾岸戦争や大量破壊兵器があると偽って始めたイラク戦争など、つくられた情報によって世界の情勢が動かされるようなことが起こりました。情報を伝える機器は日々発達していますが、逆にそれが悪用されて、人々の考え方が操作される状況も益々増えてきているように思います。

国境なき記者団が発表した世界報道の自由度ランキングで日本は72位です。これは先進国中最低水準であり、毎年ランクが低下しています。「自由にものが言えない」「本当のことが言えない」「国民に真実が知らされない」という状況が増えているということを考えると、日本が過去に犯した戦争の過ちが再び繰り返されるのではないかと心配になってきます。

「当時、戦争というものがどういうものか知らず、注意深く過ごしていなかったので、毎日の日常が少しずつ変わっていっていることに気づかなかった。はっと気づいたときには、もう戦争のまっただ中にいて、どうしようもなくなっていた。」

これは、戦争体験のある92歳の女性の方が書いた手記です。日本が再び戦争を繰り返さないためにも、私たちは社会の変調や情報のおかしさに注意を払い、自分で考え、確かめ、行動していくことの大切さを示してくれている言葉であるように思います。

第11回 文化協会祭

ゴールデンウィーク期間中は、行楽日和に恵まれて、皆さん外出されたり、家でゆっくりと過ごされたりと、それぞれに楽しまれたことと思います。

海南文化村でも、連休の期間中に第11回海陽町文化協会祭（4月29日～5月8日）、阿波海南文化村祭（4、5日）、芸能大会（8日）が開催され、たくさんの方がご参加くださいました。

展示の部

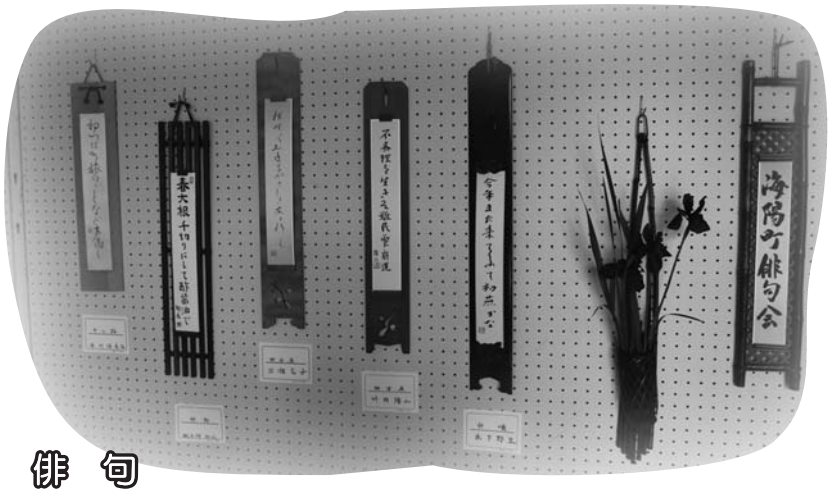
絵　画

陶　芸

写　真

書　道

手　芸



俳　句

芸能の部

民　踊

会長あいさつ

琴演奏

阿波踊り

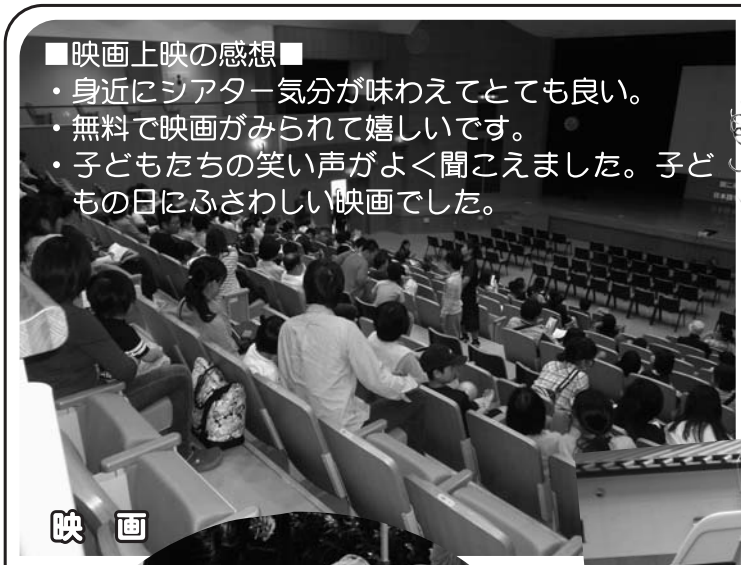
キッズダンス

太　鼓

フラダンス

文化村まつり

■映画上映の感想■
・身近にシアター気分が味わえてとても良い。
・無料で映画がみられて嬉しいです。
・子どもたちの笑い声がよく聞こえました。子どもの日にふさわしい映画でした。



映　画

ヨーヨー釣り

移動図書館

■文化村まつりの感想■
・みなさんの力作に感動！沢山のすばらしい作品を見せていただき感動しました。自分も今から何かを始めたいと思いました。毎年そう思いながら何も出来ずにいますが･･･
・ゆったりと心静かに過ごせた。お茶、押し花体験で心豊かになりました。
・地域おこし協力隊の若い女性が出展されていて、若くて新しい力を感じることができた。
・天気良く、たくさんの人がおいでて、活気あふれる雰囲気が良かった。

ドラム缶楽器スティールパンのトロピカル音楽ライブ

企画展　勝浦勝・柿本尚子作品展
「郷土に偲(おも)いを…」より

２月６日(土)から３月２１日(月)まで、大里出身の勝浦勝氏の水彩画を中心とした絵画と、浅川出身の柿本尚子氏のフランス刺繍を展示した作品展が海陽町立博物館で開催されました。郷土への偲いがそれぞれの作品に込められたメッセージとなり、連日大勢の来場者が作品会場を訪れました。町内出身の作家の皆さまのご活躍が、町民への勇気と活力をこれからも与えていただけることと思います。

期間中の３月６日(日)の朝一番に来館されたご家族(写真右下)が、当企画展1,000人目の入場者となりました。

初めて作品展へきました。子どもも絵や刺繍を見て「すごい！」や「きれい！」ととても喜んでいました。勝浦勝さんは水彩画を６２歳よりはじめられたというのでおどろきでした。「絵が本物みたい！」と子どもたちも興味をしめしてくれて作品展へ来られて良かったです。

1000人目の入場者（大里在住）

おんがくの泉
4月29日

博物館での演奏

この企画は、皆さんが身近でよく利用される図書館・博物館・海南文化館で、生演奏などを行い、音楽を身近に感じてもらうことを目的に開催していきます。人の交わりとは様々なものを伝え、新たな発想を生みます。そのような感受性豊かな時に音楽との出会いを体験してもらいたいと考えています。第１回目は、海陽町文化協会祭、博物館企画展初日でもあり、おんがくの泉にふさわしい開幕を迎えられたように思います。

今回は、徳島文理大学音楽部の清(せい)　穂花(ほのか)さん、中田日菜子(なかた ひなこ)さんをお迎えしました。

海陽町体協杯前期バレーボール大会

4月17日(日)
於：海陽中学校体育館

優　勝
K・club

準優勝
富岡体協サンクラブ

優勝したK・clubの選手の皆さん

	Aコート			
1	宍喰クラブ	2	VS 1	WAK2那賀
2	K・club	2	VS 0	橘体協
3	K・club	2	VS 0	WAK2那賀
4	宍喰クラブ	2	VS 1	橘体協

	Bコート			
1	日和佐体協	2	VS 0	牟岐体協
2	富岡体協サンクラブ	2	VS 1	海南ひまわり
3	海部フレンズ	2	VS 0	牟岐体協
4	海南ひまわり	2	VS 1	日和佐体協
5	富岡体協サンクラブ	2	VS 0	海部フレンズ

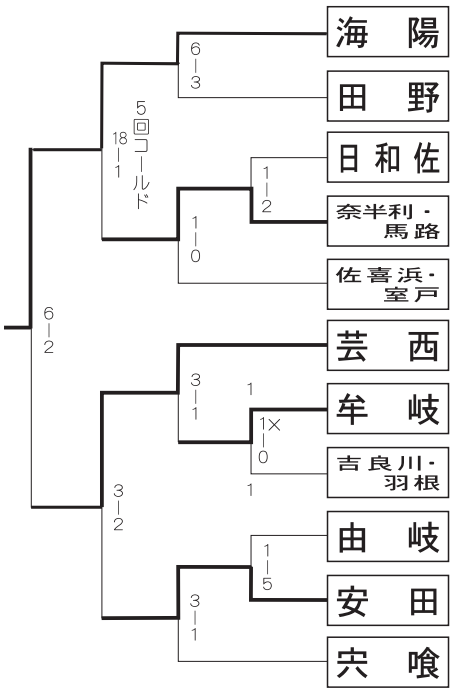
決勝戦	K・club	2	VS 0	富岡体協サンクラブ

阿土中学校野球大会

5月3日(日)～5日(月)

優　勝 海陽中学校　　**準優勝** 芸西中学校

優勝した海陽中学校の皆さん



第11回小学生6人制バレーボール海陽大会

4月3日（日）

Aゾーン　会場…海陽中学校

優勝：由岐JVC　準優勝：桑野インパレス　3位：椿キャッツ 北井上VC

	試合順				
①	加茂	2	－	0	椿
②	桑野	2	－	0	橘
③	佐那河内	2	－	0	鷲敷
④	桑野	2	－	1	海南
⑤	加茂	2	－	0	鷲敷
⑥	海南	2	－	0	橘
⑦	椿	2	－	0	佐那河内
⑧	桑野	2	－	0	椿
決勝	由岐	2	－	1	桑野

	試合順				
①	中野島	2	－	0	新野
②	津乃峰	2	－	0	見能林
③	三庄	2	－	1	北井上
④	由岐	2	－	0	津乃峰
⑤	新野	2	－	0	三庄
⑥	由岐	2	－	0	見能林
⑦	北井上	2	－	0	中野島
⑧	由岐	2	－	0	北井上

Bゾーン優勝の宍喰杉の子みなさん

Bゾーン　会場…宍喰小学校

優勝：宍喰杉の子　準優勝：大野城山JVC　3位：穴吹レッドファイターズ　相生JVC

	試合順				
①	穴吹	2	－	1	富岡
②	大松	2	－	1	津田
③	富岡	2	－	1	羽ノ浦
④	宍喰	2	－	0	津田
⑤	穴吹	2	－	0	羽ノ浦
⑥	宍喰	2	－	0	大松
⑦	宍喰	2	－	0	穴吹
決勝	宍喰	2	－	0	大野城山

	試合順				
①	新開	2	－	0	小松島
②	相生	2	－	0	善通寺
③	大野城山	2	－	0	小松島
④	相生	2	－	0	日和佐
⑤	大野城山	2	－	0	新開
⑥	日和佐	2	－	1	善通寺
⑦	大野城山	2	－	0	相生

平成27年度

徳島県バレーボール小学生新人大会
宍喰杉の子　準優勝

【3月26日～28日　小松島市立体育館他】

６４チームが大会に参加し、宍喰杉の子が準優勝しました。

宍喰町民センター

平成２８年４月より、宍喰町民センター調理室がリニューアルしました。各団体での調理実習等に是非ご利用ください。

■問い合わせ先
宍喰振興課（７６－１５１３）

宍喰俳句

四月句会より

山は山・川は川なり朧の夜　寺崎照代
磯遊び少しうねりの出はじめる　鍛冶田晟
たんぽぽの綿毛の行方見つめおり　新井久実
レッスンの盛り上がるなり百千鳥　山本球子
ぼんぼりの灯り揺れてる花見かな　梅田千恵子
海岸の一斉清掃夏兆す　樽井みつ子
すぐ乾く涙の向こう卒業式　新井駿也
空青し花は五分咲き退院す　陸田ヨネ子
古民家の軒にゆらゆら吊し雛　川野佳代
深呼吸胸いっぱいに春の風　外山千佳
カーテンを開けてとりこむ春のリズム　長岡達江
春の海波きりさいてポンポン船　元木栄子
終日を木を伐る音や花曇　間戸谷恵子
雉鳩の誰を呼ぶ声麦の秋　元木朱子
花筏海までゆけるかもしれず　木下野生

海南俳句

五月句会より

葉桜となってぼんぼり残りをり　鍛治崎郁夫
花筏乱してゐたる池の鯉　廣瀬克子
満開のさゆらぎもなき夕桜　橋本幸子
うららかや朝日背負いてひとりの餉　津川須美江
踏まれても気高く咲きし菫かな　坂本節子
漁りの道具の置かれ雛の町　田中たち子
朝寝して予定計画溶けてゆく　山本達平
八十路きて花も名残の宴かな　新居利之
老友と花の庭見るゆたけき日　森口豊子
我先と背くらべする苗の連　平道はつ子
自画像の前に本人花の午後　森浩子
春うらら認知症待ての十七字　岳山祐弘
月見草目標めざし胸を張れ　叶岡陽二
たちまちに酢飯の匂ひ花筵（むしろ）　谷口洋根子
仮の宿を幾度移らむ糸柳　谷律子
渚まで一気に駆ける浜節句　武知陸子

海部ひまわり俳句

ここがいいこのままがいい春日向　津田　一
雨模様田園の闇に初蛙　西本公明
菜種梅雨しとしとしとりしとしとり　榊原礼子
亡き人の名もゆらゆらと花ぼんぼり　南　歌子
「おりこうねぇ」坊やにっこり春ひと日　松田嘉子
新緑や濃淡の山我仰ぐ　元木美枝子
なぜ解けぬ方程式よ春の月　佐藤美代子
こいのぼり幼児の声と泳いでる　宍戸道子
鶯や口笛吹いてみたくなり　岡　育代
日永かなのらりくらりと猫ころぶ　川野照美
母と来た友と来た川猫柳　福田敦子
かえりこぬぐんかんむさし魚の城　佐藤蔦子
花冷えに九州地震大変だ　宍戸保夫
花見中狐の嫁入り夢放題　関山無門

海部短歌会

鶯の声に出合いぬ我が里のお墓そうじの林の中に　小笹仁子
子や孫は遠くに在りて会えぬ日々老いゆくわれら猫と家族す　池田孝司
幼日の貧しき雛(ひいな)に添えたるは兄と手折りし山ざくら花　北村千代子
咲き乱るるれんげ・たんぽぽ野の道を四十七年ハウスへ通う　西田美代
野も畦も黒く焼かれて春耕へ過疎の里には菜花のゆれる　柾岡節子
五色映ゆる仏のひかり修行僧五人手ごねの涅槃団子に　田村航也
高齢者集いし輪より生まれ出る竹人形はよしこのを恋う　風呂谷幸子
睦月去れどまだ冬ざるる景の中牡丹しやくやく赤芽出しおり　溝内和恵

網代川柳句会より

良く響く声に話しを横取られ　井上可楽
思いやるやさしい声に打つ心　福岡純山
進学の片隅に置く父母の汗　風呂谷いずみ
足し算が下手で赤字がつづく今　髙木柳月
ほどほどの程で足りてる満足度　石垣小道
何事も気にせずのんきケセラセラ　中村あかり
和の中の家族平和な笑い声　黒岩一平
良い人ねいわれて道を外せない　太田一洋

ときめきオーケストラコンサート in 海陽

とくしま記念オーケストラ
TOKUSHIMA KINEN ORCHESTRA

平成28年
7/9［土］14:30開場 15:00開演

会場／阿波海南文化村 海南文化館ホール
海部郡海陽町四方原字杉谷73番地

■出 演
音楽監督・指揮／秋山和慶
演奏／とくしま国民文化祭記念管弦楽団
（通称:とくしま記念オーケストラ）
合唱／宍喰小学校6年生・童謡を歌う会「たんぽぽ」
ときわ会童謡クラブ

とくしま国民文化祭記念管弦楽団　秋山和慶

●入場料［前売り］／一般1,000円 小中高校生500円［全席自由］（当日各500円増）
未就学児、乳児入場はご遠慮ください。車いすでご来場の場合は事前に申し込みが必要です。

●チケット販売先／海南文化館・宍喰町民センター・リーブル若山（ピアカイフ）
海陽愛あいクラブ・リバティ（牟岐）・海の総合文化センター（牟岐）・日和佐公民館（美波）・阿南市文化会館（夢ホール）
●主催／海陽町教育委員会・海陽町・徳島県
●助成／平成28年度文化庁 地域発文化芸術創造発信イニシアチブ事業
（一財）自治総合センター 地域の芸術環境づくり助成事業
●お問い合わせ先／海南文化館 TEL0884-73-3100 FAX0884-73-3833

この事業は宝くじの助成金を受けて実施しています。